

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3815108	海外語学研修 Study abroad	青山 晴美	専門	2	選択	1・2年 前後期
<b>科目の概要</b>						
この授業では、海外の大学・語学学校等で語学研修に参加する学生を対象に、留学先の選び方、海外での授業の受け方、現地での生活についての情報や認識を深めるための実践的な対応を学ぶ。その事前指導を受け、なおかつ二週間以上の海外語学研修を修了した学生にのみ単位を出す。海外留学を準備して実践することは社会人基礎力を養うのに最高のチャンスである。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 海外で語学研修をうけるのに必要なことを学ぶ。 ② 渡航手続きをする。 ③ 現地の文化と生活のマナーを学ぶ。 ④ 海外にて語学研修を修了する。 ⑤ 帰国後、留学中の学修についてのレポートを作成する。			① 留学に必要な知識を理解できる。 ② パスポートの申請と渡航先の学校への申し込みができる。 ③ 海外生活に必要なマナーを理解できる。 ④ 語学研修修了書を受けとり帰国する。 ⑤ 海外での学修効果を手に入れることができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例</b>				
前 踏 出 す 力	主体性	留学という目的に向かって、学校選びから、現地への渡航、語学研修を達成することで、自分で考え行動することができる。				
	働きかけ力					
	実行力	海外で、困難があっても生活をして、修了書を授与することができる。				
考 え 抜 く 力	課題発見力	留学体験を通して、語学や異文化理解に関する課題を発見することができる。				
	計画力					
	創造力	海外生活を通して、さまざまな角度から物事を考えることができる。				
チ ム で 働 く 力	発信力	留学時に、外国語で自分の意見を言うことができる。				
	傾聴力	留学時のグループレッスンで外国語での他者の発言を聞き取り、自分の意見を述べるができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	渡航や留学の手続きやスケジュール管理を通して、日程をたて、計画通りに物事をやり抜くことができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト: 授業内でプリント等を適宜配布する。 参考文献: なし						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連: 留学先の言語科目、国際交流フィールドの科目を履修していることが望ましい。 資格との関連: なし						
<b>学習上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
留学するという意志をしっかりともっていることが大切である。 留学に関する情報と、自分が行きたい国に関する情報をできるだけ多く集めてください。			研修先では、日本人としての恥ずかしくない行動をしてください。 遊び感覚では海外語学研修に参加しないでください。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	達成目標	各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	10	① ② ③ ④ ⑤	語学研修修了書を受けとり帰国後、授業で学習した内容の理解度を確認する。 ・帰国後、海外語学研修の成果の報告についての、自身の見解が論理的な文章で論じているかを評価する。課題「研修先で学び。事前にたてた目標と事後の達成について」A4 二枚
成果発表 (口頭・実技)			
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ② ③ ④ ⑤	(主体性) 海外にて語学研修に参加して帰国することができる (実行力) 修了書を授与することができる。 (課題発見力) 語学と異文化に関する自分の課題を見つけることができる (創造力) さまざまな角度から異文化について考えることができる (発信力) 海外においても自分の考えを正しく伝えることができる (傾聴力) 海外での授業でうなずきやあいづちを打ちながら話を聞くことができる。 (規律性) 計画通りに海外での語学研修を終えることができる。
その他	80	① ② ③ ④ ⑤	海外での語学研修先での成績を評価する。
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
・海外での語学研修先での成績がすべてAで、なおかつ研修先での出席率が 100%であり、レポートの内容が論理的にまとめられている場合には K。海外での語学研修先での成績がすべて A で、なおかつ研修先での出席率が90%以上あり、レポートの内容が論理的にまとめられている場合は A。	・海外での語学研修先での成績が B の場合で、レポートの内容は一応伝わっている。

週	学習・教育内容	授業の実施方法	達成レベル C(可)の目安	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 海外語学研修の意義と目的について学ぶ。	講義	・語学研修の意味と目的が明白である。	(予習)各自留学先の情報を集める。	180	主体性 実行力
2週 /	留学先を決める。自分の興味と習得したい言語と住んでみたい国を探す。	講義	現地の学校のカリキュラム、宿泊形態、期間の確認をする。	(予習)留学先の情報を集める。	180	主体性 実行力
3週 /	申し込みの手続きをする。語学学校を選び、必要な書類を確認して日程をたてる。	講義	パスポートの準備と願書の記入、航空券の予約をする。	(予習)現地の学校や生活情報を収集する。	180	主体性 実行力
4週 /	留学 現地にて語学研修	講義 演習	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	(予習・復習)現地で定められた予習・復習を行う。	180	主体性 実行力 発信力
5週 /	留学 現地にて語学研修	講義 講義 演習	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	(予習・復習)現地で定められた予習・復習を行う。	180	主体性 実行力 発信力
6週 /	留学 現地にて語学研修	講義 演習	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	(予習・復習)現地で定められた予習・復習を行う。	180	主体性 実行力 発信力
7週 /	留学 現地にて語学研修	講義 演習	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	(予習・復習)現地で定められた予習・復習を行う。	180	主体性 実行力 発信力
8週 /	留学 現地にて語学研修	講義 演習	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	(予習・復習)現地で定められた予習・復習を行う。	180	主体性 実行力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学習・教育内容	授業の実施方法	達成レベル C(可)の目安	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	留学 現地にて語学研修	講義 講義 演習	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	(予習・復習) 現地で定められた予習・復習を行う。	180	主体性 実行力 発信力
10週 /	留学 現地にて語学研修	講義 演習	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	(予習・復習) 現地で定められた予習・復習を行う。	180	主体性 実行力 発信力
11週 /	留学 現地にて語学研修	講義 演習	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	(予習・復習) 現地で定められた予習・復習を行う。	180	主体性 実行力 発信力
12週 /	留学 現地にて語学研修	講義 演習	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	(予習・復習) 現地で定められた予習・復習を行う。	180	主体性 実行力 発信力
13週 /	留学 現地にて語学研修	講義 講義 演習	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	(予習・復習) 現地で定められた予習・復習を行う。	180	主体性 発信力 実行力
14週 /	留学 現地にて語学研修	講義 演習	現地の学校で定められたカリキュラムをこなす。	(予習・復習) 現地で定められた予習・復習を行う。	180	主体性 実行力 発信力
15週 /	帰国後の報告会をする。現地での研修内容に関するレポートを提出する。修了書を提出する。研修を振り返り将来への参考にする。	講義	レポート提出 修了書提出	海外語学研修で得たことをまとめる。将来への糧とする。	180	主体性 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況  
把握力 規律性 ストレスコントロール力